

小・中・高校生は、子供から大人へ成長していく途中の大切な時期です。身体の大きさは大人に追いつき、追い越すほどに成長します。しかし、心の成長については、まだ少しずつ大人に近づこうとしている段階です。社会人への階段を一步一步のぼるために、**「自分で考え、自分で判断し、行動できる力」を身につける必要があります。**日頃の生活の中で、気をつけることや社会のルールを守ることの大切さをもう一度よく考えてみましょう。

① 覚せい剤・大麻の乱用 ～持っているだけでも犯罪、一度やったらやめられない～

覚せい剤・大麻などは、持っているだけでも、重大な犯罪になります。また、強い精神的依存性があり、身体が欲しがらただけではなく、使うと気分が良くなるなどの理由や、薬が切れたときの不安感やイライラ感に耐えきれずに繰り返し使ってしまい、いつの間にか自分ではやめられなくなってしまういます。薬物を乱用していると、実際には見えないものが見えてしまう幻覚や、実際には聞こえないものが聞こえてしまう幻聴が起こります。精神のバランスが崩れるほか、体の主要器官にも深刻な悪影響が出るため、心身の両面が破壊されます。その結果、精神不安定になったり、薬物欲しさから、暴力的になり、家庭内暴力や、さらには強盗、傷害、殺人などの凶悪な犯罪や重大な交通事故を起こすケースもあります。

●若年層による大麻乱用者が増加しています

令和5年の全国の大麻事犯検挙者数は6,482名であり、前年(5,342名)と比べ大幅に増加しています。また、兵庫県の大麻事犯検挙者数については、令和5年は過去最多の447名となり、そのうち30歳未満の若年層が7割以上を占め、若年層を中心とした大麻の乱用拡大が身近な所で報告されています。

●甘い誘いはキッパリ断ろう！

若年層は、誘われたことをきっかけに大麻を使用する傾向にあります。誘いのセリフは様々で、「最高の気分が味わえる」「みんなやってるよ」などと言葉巧みに誘います。

特に友達からの誘いは、「仲間はずれにされてしまうかも？」「いじめられてしまうかも？」という気持ちが邪魔し、悩んでしまうことがあるかもしれません。ですが、危険な薬物である大麻は一度の使用で、あなたの将来を台無しにしてしまう可能性があります。

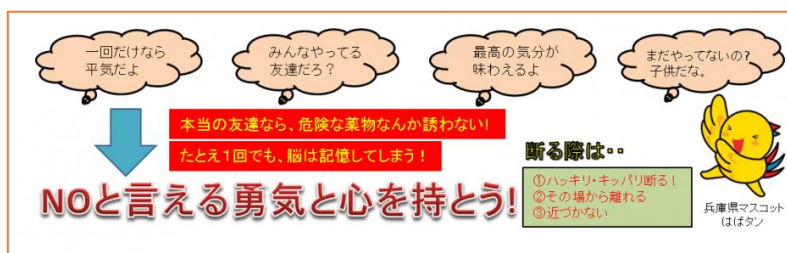
大切な人を思い浮かべてみましょう。

大麻は、あなたが築いてきた大切な人との信頼関係さえも壊してしまうかもしれません。

誘われた時は、

しっかりと断りましょう！

NOと言える勇気と心を持とう！



② 安全なインターネットの使い方 ～インターネットにもルールがあります～

スマホ（スマートフォン）やパソコン、ゲーム機、音楽プレーヤー等で利用できるインターネットは、便利である反面、危険も多くあります。勝手に他人の写真を撮って送ったり、他人が書いたものを転送したりするのは、ルール違反です。ネットで広がってしまうと、いたずらではすみません。18歳未満の人の下着姿や裸の写真・動画は「児童ポルノ」と言い、作ったり公開したりすることは犯罪です。こうした写真・動画は、絶対に撮らない、撮らせない、送らないようにしましょう。ネットで誰かの悪口を書いたり、噂を流したり、勝手に写真や動画を公開したりすることは、絶対に許されません。

③ 万引き ～窃盗罪で罰せられる犯罪～

「万引き」は、犯罪（窃盗罪）です。万引した品物を返したり、品物の代金を払っても、盗んだことに変わりはありません。万引きを何回も繰り返しているうちに、悪いことに対する罪の意識が薄くなり、いろいろな犯罪をするようになってしまうこともあります。友達が万引きする側で見張りをしたり、万引きした品物と知っていてももらったりする行為も犯罪です。友達が万引きしていることを知ったら、勇気を持って注意しましょう。万引きは面白半分でも、万引きされたお店では深刻な問題です。

④ 放置自転車でも人の物 ～無断で乗り回すのは犯罪～

公園、道路、駅等に置かれている他人の自転車を無断で乗り回すことは、犯罪（窃盗罪あるいは横領罪）です。通学や遊びに行くとき、自分の大切な自転車がなくなっていたらどんな気持ちでしょう。相手の気持ちを考えましょう。



⑤ 公共物へのいたずら ～落書きも器物損壊の罪～

学校、駅、歩道橋、公衆トイレなどの公共物を故意に（わざと）壊したり、落書きをしたりするのは犯罪（器物損壊罪）です。公共物は、みんながお金を出し合って作り、みんなで利用しているみんなのものです。公共物を、壊したり、落書きをすると多くの人に迷惑がかかります。利用するみんなのことを考えて大切にしましょう。公共物を壊したり、落書きをしたりすると弁償をしなければなりません。



小・中・高校生あなたは社会の立派な一員です。大勢の人が生活をしている社会にはみんなが安心して生活ができるよう、「社会のルール」があり、みんながそれを守っています。

社会のルール（法律）に違反することは犯罪です。また、あなたがルール違反の人から被害を受けたら、法律や社会の人々があなたを守ります。

社会のルールをしっかり守る習慣を身につけましょう。

